

令和4年度 学校評価報告書(目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・新教育課程において、工業教育の特色を生かし、社会で必要とされる専門性の向上を図る教育課程を提供する。 ・自ら課題を発見し解決する力の育成と主体的に学ぶ意欲の向上を図る。 ・学校行事や生徒会活動を通じ、自他の多様性を尊重させ、生徒の主体的な活動の促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①深い学びを実現するため教育課程の再検討と職員のICT活用率向上を目指す。 ②自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って取り組み、資格取得やコンテストへの意欲の向上を図る。 ③生徒会行事の運営を通して、生徒の自立心を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①新教育課程の再検討を行い、より深い学びを保証する教育課程を策定する。職員のICT活用が進まない原因を洗い出し、対策を検討する。 ②教科指導以外にも、工業について学ぶ機会を設け、生徒の工業に対する興味関心を高め、主体的な取り組みを促す。 ③コロナ禍における学校行事の在り方について、生徒たちに考えさせ、企画や準備を支援していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ①改善した教育課程の策定や検討が行えたか。職員のICT活用率が向上したか。 ②資格取得を促進し、ジュニアマイスター取得者数を増やすことができたか。また、コンテスト等への支援体制が向上したか。 ③コロナ禍による制限がある中で、安全安心な生徒会行事が実施でき、生徒に成功体験を積ませることができたか。 					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の成長を意識させ、社会人としての基礎力を身に付けさせる。 ・学校行事や部活動を通じて、責任感、協調性、自主性の涵養を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①基本的な生活習慣を身につけさせる。 ①教育相談体制を強化し、情報共有の充実に努めながら、問題行動等の未然防止と問題解決を図る。 ②生徒の主体的な活動への支援を通して、自立心や責任感を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①挨拶・服装・頭髪・遅刻等、粘り強く指導を行う。 ①課題を抱える生徒に対して、職員間及び、職員とスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、組織的な対応を進める。 ②コロナ禍における部活動の在り方について、部員たちに考えさせ、合理的で効果的な活動ができるよう支援していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ①遅刻指導等の件数が前年度より減少したか。 ①学年や教科間の連携及び、教育相談との連携による組織的な対応ができたか。それにより解決や好転したケースが見られたか。 ②コロナ禍による制限がある中で、合理的で効果的な部活動が行えたか。また、生徒に成功体験を積ませることができたか。 					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの進路実現に向けた進路指導の充実を図る。 ・社会的・職業的自立に資するよう、労働観、職業観を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①進路選択における進路指導の充実を図る。 ②専門業者と連携し、労働観や学習観における知見の拡大を図りミスマッチの未然防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①進路情報提供におけるICT活用により迅速な情報提供を行うことで、進路に関して相談の時間を確保する。 ②専門業者利用による説明会やセミナーの開催、大学進学者の実力把握のための模擬試験や論文指導を行い、視野を広げ自己研鑽できるよう導く。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ICT活用により生徒がより多くの情報を確認し相談する時間を確保できたか。 ②就職や進学において、自己の実力を把握し進路選択に役立てることができたか。 					
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域とともに育つ向工」を実現し、「地域で活躍する向工生」を育むために、地域社会との連携による教育活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「地域とともに育つ向工」を実現するため、ホームページや説明会などで本校の教育活動を発信する。 ①「地域で活躍する向工生」を育むために、地域や企業との連携事業を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①感染対策を行いながらの活動となるため、ホームページや動画などを充実させ学校活動や魅力を積極的な広報活動を行う。 ①自動ハンドベル演奏やものづくり体験教室などをとおして、自ら考える力やコミュニケーション能力、ものづくり教育を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ホームページを利用して学校の行事や活動の紹介を通して学校の魅力を積極的に発信することができたか。学校説明会参加者、受検者が増えたか。 ①ものづくり体験などに生徒が積極的に参加協力し、自ら考える力やコミュニケーション能力、ものづくり教育を育むことができたか。 					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の情報機器の整備と防災教育を推し進め、安全安心な教育環境を構築する。 ・全ての職員の資質向上を図るとともに、風通しの良い職場づくりをめざし、教職員の事故不祥事を未然に防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①昨年度作成した生徒対象の風水害マニュアルについて、生徒・職員に周知する。 ②事故防止研修を行い、事故不祥事の未然防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①年間の防災訓練において、風水害に関する訓練も実施し、保護者等にも周知する。 ②特に初めて私費会計を担当する職員への連絡を密に行い、業務がスムーズに行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①マニュアルにのっとり職員研修・防災訓練が実施できたか。 ②県の私費会計規準にのっとり業務処理が行え、事故や不祥事は起きなかったか。 					